

# スマイル通信

佐藤光樹県議会だより



発行者 宮城県議会議員 佐藤光樹  
〒985-0016 塩竈市港町2丁目12-12  
Tel(022)362-8615 Fax(022)367-6287  
Eメール heart@hkg.odn.ne.jp  
http://WWW.k-sato.jp

## 第311回宮城県議会閉会！！

去る11月15日～12月12日まで第311回宮城県議会が開催され、10月6日低気圧被害対策などを盛り込んだ18億6900万円の一般会計補正予算案等24議案を原案通り可決し、閉会致しました。また、障害者自立支援法に対する意見書など6件可決、

私立高等学校等への助成強化、厚生年金病院の存続・機能充実を求める請願等8件を採択いたしました。これで、今年度の予算規模は、

一般会計で8189億3200余万円、総計で1兆1060億9300余万円となりました。



## 《市町村財政について一般質問》 (一部抜粋) 光樹県議 第二の夕張市を出してはならぬ！

Q.平成17年度市町村決算報告の内容以上の部分はどの程度把握しているか？

A.市町村の基本的な財政状況の大部分は把握しているが、第3セクターの経営状況等将来の市町村財政への負担を与える恐れのある事項など詳細全てを把握出来ていないのも事実です。

Q. 第二の夕張市となりかねない自治体は？

A. 現状においては、県内には夕張市のような不正な操作をしている団体は見られないが、危機的な財政状況にある団体も見受けられる。予断は許さない状況であると認識している。

Q. 市町村財政を破綻させない為の県の財政出動の優先度は？

A. 県と市町村は自立した対等・協力の関係を築いていかなければならない。市町村財政が破綻しないよう既存の財政支援スキームを活用し、財政の健全化に向けて各団体のニーズに応じてきめ細かく助言することが重要だ。

Q. 県として市町村財政を支援するメニューがいくつか考えられると思うが、それら支援策の実効性、利点及び問題点についてどうか？

A. 県では、市町村支援プランを策定し、総合的な市町村支援に取り組んでいます。例えば市町村振興総合補助金や市町村振興資金貸付金等直接的な財政的支援に加え、個人住民税緊急対策支援等の人的支援や地方機関による業務支援も行っている。また、市町村振興総合補助金は、事業の検討期間の前倒し等市町村が提案しやすい環境づくりを進めると共に市町村振興資金貸付金も市町村のニーズを踏まえ、より利用しやすい制度となるよう検討します

Q. 県民の幸せ確保の為、我が県から第二の夕張市を出してはならないという確固たる使命感が知事はじめ職員の皆様に必要と思うがどうか？

A. 富県みやぎを实践する為には県と市町村がパートナーシップを構築しながら1つの落伍者も出すことなくいずれの団体も豊かさを実感出来るようにならなければならない。市町村が抱える課題に真摯に向き合い、それぞれ親身になってきめ細かく対応していくことが重要だ。今後とも県庁職員が一丸となって県内から準用財政再建団体を1つも出してはならないとの共通認識のもと全力で職務に取り組みます。